

# 第42回(公財)千葉県消防協会 千葉支部消防操法大会



主 催：(公財) 千葉県消防協会千葉支部  
当番市：習志野市

開催日 令和8年6月28日(日)  
場 所 習志野市役所「駐車場」

# 第42回(公財)千葉県消防協会千葉支部消防操法大会実施要領

## 1 目的

この大会は、千葉支部管内消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図るため、正確で安全かつ迅速な消防操法の習熟と消防の重要性を確認するとともに、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、もって地域防災体制の確立を期することを目的とする。

## 2 主催 千葉県・(公財)千葉県消防協会千葉支部(開催市:習志野市)

## 3 出場種別

- (1) ポンプ車の部(習志野市・八千代市)
- (2) 小型ポンプの部(千葉市・市原市)

## 4 消防操法について

千葉県消防操法実施要綱・要領、千葉県消防操法審査要綱・要領に準ずる。

## 5 受付等について

- (1) 出場隊は、午前10時40分までに受付を終了すること。
- (2) 係員の指示に従い所定の位置にポンプ車を駐車させるほか、出場準備を整えて待機すること。
- (3) 大会開始の集合等は、全て放送により指示するほか、プラカード等(開催市担当)で集合位置を定めるので行動にあっては「駆け足」で行うこと。

## 6 審査結果等について

各市消防団長の申合せ事項により、審査結果に関する異議・苦情の申立は、一切受け付けませんのでご承知願います。

## 7 その他

- (1) 実施要領に定めるほか、細部については、各市消防団長が協議のうえ、決定するものとします。
- (2) ホースの計測は、例年どおり実施しません。
- (3) トイレについては、習志野市役所及び消防本部内のトイレをご利用ください。

# 第 42 回（公財）千葉県消防協会千葉支部消防操法大会次第

日時：令和8年6月28日（日）午前11時00分

場所：習志野市役所 駐車場

## 1 開会式

- (1) 出場隊集合 10時55分
- (2) 人員報告（当番市副団長：支部長へ報告） 10時58分
- (3) 開会宣言（副支部長：千葉市消防団長） 11時00分
- (4) 優勝旗返還（八千代市・市原市）
- (5) 大会委員長挨拶（支部長：市原市消防団長）
- (6) 開催市団長挨拶（習志野市消防団長）
- (7) 開催市市長祝辞（習志野市長）
- (8) 審査長注意（開催地消防長：習志野市消防長）
- (9) 審査員紹介（習志野市消防本部・千葉市消防局）
- (10) 出場隊退場

## 2 競技開始

11時20分

- (1) ポンプ車操法 習志野市 ・ 八千代市
- (2) 小型ポンプ操法 市原市 ・ 千葉市

## 3 競技終了（審査集計・表彰準備）

12時10分

## 4 閉会式

12時25分

- (1) 出場隊集合
- (2) 審査結果発表（審査長：習志野市消防長）
- (3) 表彰式
  - ①ポンプ車の部
    - 最優秀賞 1チーム
    - 敢闘賞 1チーム
  - ②小型ポンプの部
    - 最優秀賞 1チーム
    - 敢闘賞 1チーム
- (4) 閉会宣言（副支部長：八千代市消防団長）

## 5 解散

12時35分

## 第42回（公財）千葉県消防協会千葉支部消防操法大会組織表

（大会役員）

大会委員長	支部長（市原市消防団長）
大会副委員長	副支部長（千葉市・習志野市・八千代市）
大会委員	千葉県防災危機管理部消防課副課長 各市消防（局）長（千葉市・習志野市・市原市・八千代市） 大会事務局（千葉県防災危機管理部消防課）
審査長	開催市消防長（習志野市消防長）
副審査長	各市消防（局）長（千葉市・市原市・八千代市）
大会運営委員	開催市消防本部・消防団（習志野市）
開催市事務局	習志野市消防本部 消防総務課

競 技 審 査 関 係		
審査部長	習志野市消防本部 警防課長	
審査員	ポンプ車の部	習志野市消防本部
	小型ポンプの部	千葉市消防局

# ポンプ車の部

## ○出場順位及び操作員名簿

出場順位	消防団名	操 作 員	
		番 員 階 級	氏 名
1	習志野市	第58回習志野市消防団ポンプ操法大会 優勝チーム	
2	八千代市	指揮者	部長 浅野 勝
		1番員	班長 柴田 賢
		2番員	団員 浅野 真行
		3番員	班長 村山 武史
		4番員	団員 豊田 将貴
		補助員	団員 小島 和也
		予備員	分団長 豊田 英晃

### ○ポンプ車操法の概要

- ・ 人員は指揮者以下5名で実施する。操作は想定された火点(標的)に迅速確実に二重巻きホース3本を一線延長し放水、更に二線を延長し放水する。
- ・ 審査については、士気、規律、迅速な行動、確実な動作、消防用機械器具の精通及び愛護等を重点として行う。

第一線延長	55秒	指揮者の「操作始め」の号令による4番員の「よし」の合図の「し」から審査員が標的への有効注水と認めた時点までを計時する。
第二線延長	65秒	指揮者の「第二線延長始め」の号令による1番員の「第二線延長始め」の復唱の「め」から審査員が標的への有効注水と認めた時点までを計時する。

※ 上記タイムを超過した場合は、1秒につき1点減点する。また、基準タイム内の場合は、1秒につき1点加算する。

## 小型ポンプの部

### ○出場順位及び操作員名簿

出場順位	消防団名	操 作 員		
		番 員	階 級	氏 名
1	千葉市	指揮者	部 長	伊 藤 藤 諭
		1番員	班 長	小 高 直 樹
		2番員	団 員	中 島 博 明
		3番員	団 員	秋 元 利 成
		補助員	団 員	中 山 有 翔
		予備員	団 員	仮 屋 蘭 清
2	市原市	指揮者	班 長	根 本 剛
		1番員	部 長	重 村 勇 樹
		2番員	副分団長	竹 内 一 喜
		3番員	団 員	長 谷 川 一 輝
		補助員	団 員	須 藤 浩
		予備員	団 員	松 本 貴 紀

#### ○小型ポンプ操法の概要

- ・ 人員は指揮者以下4名で実施する。操作は想定された火点(標的)に迅速確実に二重巻きホース3本を一線延長し放水する。
- ・ 審査については、士気、規律、迅速な行動、確実な動作、消防用機械器具の精通及び愛護等を重点として行う。

#### ○基準時間及び計時方法

ホース延長	45秒	指揮者の「操作始め」の号令による3番員の「よし」の合図の「し」から審査員が標的への有効注水と認めた時点までを計時する。
-------	-----	---

※ 上記タイムを超過した場合は、1秒につき1点減点する。また、基準タイム内の場合は、1秒につき1点加算する。

第42回(公財)千葉県消防協会千葉支部消防操法大会 会場図

別紙4

習志野市庁舎

トイレ  
授乳室

トイレ

京成津田沼方面

駐輪所

一時降車可能

立看板

放送 来賓 来賓 市長 本部 本部 市民 市民 市民  
賞品

受付 受付 受付

ホース  
撤収  
場所

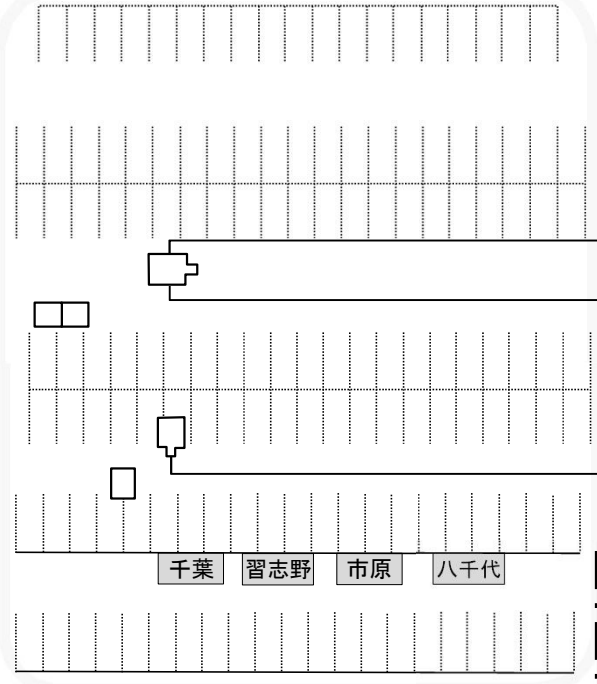
消防本部庁舎

来賓導線  
駐車場

★降車可能場所

鷺沼小学校方面

★  
駐車場



千葉 習志野 市原 八千代

徒歩のみ通行可

ホース撤収場所

消防訓練センター

揚場ボール



## 成績記録

### ○ポンプ車の部

順位	所属	総合得点
最優秀賞	市消防団	点
敢闘賞	市消防団	点

### ○小型ポンプの部

順位	所属	総合得点
最優秀賞	市消防団	点
敢闘賞	市消防団	点